



学生“自分ごと”宣言

～自然エネルギーを題材に～

学生参加者一同

2022年3月
学生版自分ごと化会議



はじめに

「学生版自分ごと化会議」では、「第Ⅱ期自分ごと化会議in松江」(以下、JGK本家)に学生参加者として参加した学生と、学生事務局として運営に関わった島根大学行政学ゼミのメンバーで、7回にわたって自然エネルギーと省エネルギーをテーマに話し合ってきました。

私たちは、JGK本家を通して、市民自らが自然エネルギーを考える重要性を実感しました。そして今度は、自分たちが主体となって学生の視点で議論することで、より自分ごとの度合いが深まるのではないかと考えました。

第4回までは、JGK本家にならい、自然エネルギーについて、その活用方法、情報発信、自分ごと化の促進の3つをテーマに話し合いを進めていました。しかし、特に自然エネルギーの活用方法については、様々な意見が出る一方で発電効率や費用問題など分からないことも多く、学生だけで議論する難しさにも直面しました。

そのようななか、加藤秀樹さん(JGKの生みの親・構想日本の代表)から、「自然エネルギーにとらわれずエネルギー自体について、日常の気づきから議論していくことが市民感覚である」というお話をお聞きました。そこから私たちは、エネルギーを使用することが前提となる自然エネルギー以外にも、そもそもその使用を減らすという視点が重要ではないかと考えるようになりました。そこで、第5回からは、省エネルギーという4つ目の軸を議論に追加し、より実生活と結び付けながら話し合っていました。

この提案書には、提案だけでなく宣言としての意味も込めており、テーマごとに学生がやること、みなさんと一緒にやりたいことを提示しています。この会議をスタート地点として、実際の行動に繋がっていくことが、一歩進んだ「自分ごと化」であると考えています。

今後は自分たちの自分ごと化をさらに進めていくとともに、他の学生にも輪を広げていきます。

2022年3月31日

「学生版自分ごと化会議」参加者一同





本提案は、これまでの学生版自分ごと化会議で学生が話し合った内容をもとに作成しました。

提案①

松江らしい自然エネルギーの
活用を進めよう

提案②

自然エネルギーに関する
情報を共有しよう

提案③

自然エネルギーの
「自分ごと化」を深めよう

提案④

省エネルギーを進めよう



提案①

松江らしい自然エネルギー の活用を進めよう

ここでは、まず「水の都・松江」と呼ばれる松江市の象徴であり貴重な資源である「水」を活かした新たな発電のあり方を提案します。また、発電したエネルギーを市内の観光スポットでの活用につなげる案も提示しており、自然エネルギーと観光を結びつけようという思いを込めています。

学生が提案します！

- 堀川の遊覧船や加賀の潜戸の船、隠岐に向かう際のフェリー等でのプロペラ水力発電を検討することで、市民や観光客が観光地と同時に自然エネルギーに関心をもち楽しむきっかけをつくろう。
- 大量繁茂が問題となっている堀川の藻を用いたバイオマス発電を検討しよう。
- 松江市に点在する水路での水力発電を検討しよう。
- 宍道湖、中海での波力発電を検討しよう。
- 発電したエネルギーを市内観光地のライトアップに使用しよう。
(例)・夜間の松江城全体や市内の水路のライトアップ
・小泉八雲記念館や松江歴史観の展示物のライトアップ
・「水燈路」のライトアップ
- 発電したエネルギーを「水の都松江」のPRに使用しよう。
(例)・カラコロ工房の傘のライトアップ
・松江駅前での「水の都松江」をテーマにしたイルミネーションの点灯

もっと、みなさん一緒に！

行政、発電関係者、観光に携わる人々と活発に意見交換を行いましょう。そして、自然エネルギーの導入や活用のあり方を、一緒に考え、提案し、実現につなげていきましょう。

提案②

自然エネルギーに関する 情報を共有しよう

ここでは、自然エネルギーに関する知識や情報、自分自身が考えたこと等を共有し周りに広げていく方法を提案します。学びや気づきを個人のもので終わらせるのではなく、周りの人を巻き込み、一人でも多くの人が自然エネルギーに関心をもつようにという願いを込めています。

学生が発信します！

- 各自然エネルギー発電が、どの程度のエネルギーを供給するのか (例：漁船にプロペラをつけて発電する場合の発電量)シミュレーションをしよう。
- 各自然エネルギーの特徴がぱっと見てわかる、エッセンスを凝縮したものをA4 1枚程度で作成、周知しよう。
- 自然エネルギーに関する4コマ漫画など視覚的情報から関心喚起、情報提供しよう。
- まずはとっかかりとしてSNSで情報発信しよう。さらに、特設サイト等を作成し、関心を寄せてくれた人にはより詳しい情報にアクセスしてもらおう。
- 私たち学生はもちろん、市民のみなさんも自然エネルギーへの関心をもちつつけられるよう、自然エネルギーについて考えることの面白みや楽しさを発信し続けよう。

もっと、みなさん一緒に！

現実に安定的な電力供給が期待できる自然エネルギーについて、検討していきましょう。そのうえで、わからないことは意思表示をし、行政に説明を求めたり、行政をはじめ様々なセクターで連携したりするなどして、今の松江市の原発のあり方も含め電気供給のあり方を見直していきましょう。そして、よいと思ったものはどんどん行政に提案していきましょう。

提案③

自然エネルギーの 「自分ごと化」を深めよう

ここでは、一人一人が自然エネルギーの「自分ごと化」を深めていくための方法を提案します。
第Ⅱ期自分ごと化会議in松江の会議や運営に携わった経験をもとに、自分ごと化会議のような取り組みを続けていくことはもちろん、さらに小さな単位や新たなフィールドでの取り組みも提示します。

学生が企画します！

- 大学生が小学生向けに自然エネルギーに関するクイズを作成するなど、イベントを実施することで、大学生、小学生の双方が楽しみながら自然エネルギーについて学ぼう。
- 今回の「自分ごと化会議」のような市民が気軽に自然エネルギーについて考え意見を交わせる場の存在を広く周知するために、アルバイト先や部活動、サークル内等所属するコミュニティで積極的に周知活動をしよう。
- 観光と結びつけるなどして、自然エネルギーには関心のない人にもきっかけを与えよう。(例えば、船で松江市内を巡るツアーを行いつつ、水力発電をはじめ市内の自然エネルギー発電の現状や可能性について学ぶ)

もっと、みなさん一緒に！

まずは近くの人や立場が同じ人と、自然エネルギーについて身近なことから話し合ってみませんか？そのうえで今度は異なる世代の人とも個人のエネルギー事情や考えを共有できれば、より視野が広がると思います。また、自然エネルギーの源である自然に触れ、その価値を知っていきましょう。そして自分ごと化した経験は、他の人にも伝えていきましょう！

提案④

省エネルギーを進めよう

この提案は、エネルギー消費量を減らすために我々ができることを示しています。身近なところからエネルギーのあり方を見直すことで、エネルギーや自然エネルギーを自分ごと化していくことにつなげたいという思いがあります。

学生が変わります！

- ペットボトル等のプラスチック製品をなるべく買わないようにすることで、燃焼にかかるエネルギーを削減しよう。
- 家に複数人で過ごす際は、極力一つの部屋に集まって過ごすことで電気の使用量を抑えよう。
- 使用していない家電等のコンセントは入れっぱなしにしないようにしよう。
- 待機電力が生じてしまうもの、例えば家の外からスマートフォン等で指示を出すことで稼働する家電等は使用を最低限に抑えよう。
- 鍋の蓋を保温機能の高い物にする等、保温機能の高い家電を使用することで再加熱にかかるエネルギーを削減しよう。

もっと、みなさん一緒に！

今暮らしているまちでエネルギーの無駄が発生していないか、一緒に考えてみませんか？例えば現在いたるところに存在する自動販売機は、ニーズの高い場所に設置を限定できるかもしれません。自動ドアは、肘等で簡単に押して開けられるようなドアに変えていけないでしょうか。24時間営業は深夜日中に比べ利用が少なく、そのことを踏まえてもっと工夫できないでしょうか。みなさんでまちのエネルギー利用について、よりよく変えていくようなあり方を検討していきましょう！



お問い合わせ先

学生版自分ごと化会議

事務局

島根大学行政学ゼミ

住所：〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学法文学部(每熊研究室)

TEL：0852-32-6158

E-mail：shimadaigyousei@gmail.com